

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都荒川区南千住 8 - 2 - 1
園名	荒川区立南千住第二幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

本園の地域及び園庭は自然が充実し、植栽も豊かである。一方で園児の立ち入らない場所や使用していない箇所がある。工夫を図り、より一層自然への興味関心を高めたい。

2. 活動スケジュール

6月18日

○園内にある様々な土を集める

- ・砂場、花壇などにある土を自分で探す。

6月19日

○土をじっくり見る

- ・土を見て気付いたことを話し合う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【素材・道具】

机・椅子・製作シート・探したものを入れる容器・ペン・虫眼鏡

【環境の設定】

- ・探したものを容器に入れて保育室に集め、振り返りができるようにする。
- ・グループごとにテーブルに集まり、トレイなどを使って採取した土を分けたり触ったりできるようにする。

4．探究活動の実践

< 活動の内容 >

- 年長組「幼稚園にある土を探そう」
 - ・園内にはどんな土があるのか探し、触ったり集めたりする。
- 年長組「土をじっくり見て、違いを共有しよう」
 - ・お気に入りの土を持ってきて、じっくり見たり、気付きを共有したりする。

< 活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり

- 6月18日（水）
- 活動前の午前中の好きな遊びの時間
 - ・土や砂、泥に目を向けやすくするため、みんなのじかんを泥遊び・水遊びに変更し幼児の目を自然に向け、午後の活動の際に振り返りやすくする。
 - 土探しの前に
 - ・「幼稚園には、どこにどんな土があると思う？」との声掛けから活動を始め、自分たちの身近にある土や砂に興味をもち、考えて探そうとする気持ちを引き出す。
 - 道具を用意し、園庭に出発
 - ・各自容器とスプーンを持って自分で考えた場所に移動し、土を収集する。
 - 探してきた土をグループごとに見る
 - ・「この土、くさい」「手にくっつくよ」「土の中に木が入っている」匂いを嗅いだり触ったりしながら、諸感覚で土を見る。
 - 2回目に土を探しに行く
 - ・教師が今持ってきたのとは違う場所の土や砂を持ってくるように声を掛ける。
 - ・友達が持ってきていない場所から土を取りたい気持ちから、隣に人が来ると容器に入れた土を元の場所に戻して違う場所に行ったり、一度入れたものをまた違う場所の土に変更したり何度も考えて探しに行く幼児、すぐに場所を決めて保育室に戻る幼児の姿があった。
- 6月19日（木）
- 昨日探した土をどうしたいか子供たちに投げかける
 - ・朝からテラスに並べて置いたカップを見て「これはぼくの土だね」「ぼくのは石とか木とか入っているんだよ」

- ・この集めた土をどうしたいか聞くと「全部混ぜたい」「混ぜてどんな色になるのか見てみたい」「土に種を入れて、何かを育ててみたい」

○一つ容器の土を持ってくる

- ・「ぼくの土はどれだったかな？もう一回ピーマンの畑の土を見てくる」と言って、靴を履き替え見に行き「これがぼくのピーマンだと思う。畑に石とか木があったから」
- ・「めっちゃ硬い」「これあったかい」など自分のだと思うものを選び席に戻ると、自然に自分の土を見て気付きを教師に話す。
- ・教師が「どうしてこの土がお気に入りなのかよく見てみよう」との声掛けと虫眼鏡の提示から「見て、上の石は大きくって下は違うよ」教師「Rちゃんが面白いことに気付いたよ。下から見るのと上から見るのと違うんだって」と知らせると上から見たり下から見たり見る角度によって違うことに気が付く幼児が出た。
- ・「光っているものを見つけたよ」「小さい塊は手でつぶすと粉々になるけどならないものもあるよ」「透明の石があったよ。青い石もあった」





5 . 振り返り

< 振り返りによって得た先生の気づき >

- ・初日は、幼稚園の土は「これ」と思って同じような場所から探している幼児が多かった。よく見て観察することでいつもの土だけどこんなに粒があるのかなど自分の気づきを伝えたい、聞いてほしい気持ちが大きく見られた。ゆっくりと子供の時間に合わせて観察、探検をすることで土と対峙できていた。
- ・透明カップを用意したことで、自分が集めた土をじっくり見ることができたのが良かった。子供の手の大きさにあったサイズが扱いやすかった。
- ・泥山は土ではないと言う幼児に「土ではないのかな?」と思い選択肢から外す幼児の姿があった。幼児の中で泥、土、砂は別物と思っていることに子供目線の面白さを感じた。
- ・予想よりも幼児が土に注目してじっくりと観察していた。虫眼鏡の準備をしていたが幼児から声が上がることはなかった。道具を目の前に置いておけば経験があるため調べようと思えただろうが、幼児から意見を引き出すのは難しかった。
- ・子供からこの集めた土をどうしたいのか聞くと、「混ぜたい」と出た。一つの場所の土を、時間を掛けて観察したが、混ぜてどうするのか聞くと「どんな色になるのか比べたい」と出た。「比べる」となると一つひとつを見て比べた方が良いのではないかと大人目線では思ってしまうその発言を広げてあげることが難しかった。